

はじめに

副校長 佐川 透

「国語科における学びを広げる姿を目指した授業づくり」という研究主題の基、2年計画の1年目の全校研究に取り組んできました。

研究の推進に当たり、子どもたちが学びを広げる姿とはどんな姿なのか、確認することから始めました。子どもたちが教科の学習を通して学んだことや学習経験などから得たことを他の学習活動や学校生活全般で活用する姿、つまり授業を通して習得した知識・技能を活用し、学習活動に取り組み、自ら思考・判断・表現する姿を目指すことにしました。

本研究では、国語科の指導内容や重点事項について、改めて学習指導要領に立ち返りました。観点別学習評価票を作成し、共通の観点を基にして児童生徒の実態把握に努め、授業づくりや単元終了時の評価に活用しました。

また、本研究の試みの一つとして、国語科の内容と各教科等を合わせた指導を関連付けた単元計画の作成に取り組みました。各教科等を合わせた指導の単元計画の中に国語科の内容を色濃く扱った時間を設けるというものですが、この成果や課題については2年目の実践でさらに検討を加えることにします。

最後に、全校授業研究会に際し、たくさんの具体的な御指導、御助言をいただきました秋田大学大学院教育学研究科教授藤井慶博氏、大仙市立太田東小学校校長櫻田武氏、秋田県立大曲支援学校教諭（兼）教育専門監督原咲希子氏をはじめ、関係各位の皆様にご心より感謝申し上げます。併せて本書を御高覧いただきました皆様より忌憚のない御意見、御指導をいただきますようお願い申し上げます。